

建築物名称	バロー新富士インター店
受付日	平成29年6月26日
建物所在地	富士市大淵字辻畑2654番1外
構造規模等	鉄骨造／地上1階／延床面積2,985.07平方メートル／新築
建物用途区分	物品販売店舗
建築主	株式会社バローホールディングス 代表取締役 田代正美
設計者	有限会社中部設計 梶田光雄
工事完了予定日	平成29年7月25日

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)パロー新富士インター店	階数	地上2F
建設地	静岡県富士市大淵字辻畑2654番1外	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	1,370 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,000 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年7月 予定	評価の実施日	2017年6月5日
敷地面積	9,875 m ²	作成者	有限会社中部設計 梶田光雄
建築面積	3,118 m ²	確認日	
延床面積	2,985 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	85%
③上記+②以外の	85%
④上記+	85%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

音環境	2.6
温熱環境	3.3
光・視環境	3.0
空気質環境	4.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.7

機能性	3.9
耐用性	3.1
対応性	4.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.3
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

水資源	3.0
非再生材料の	3.3
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

地球温暖化	3.6
地域環境	3.2
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	地域の環境に配慮した、建物計画としました。	
その他	生ゴミは飼料等への再利用をおこないます。	
Q1 室内環境	建物用途がスーパーマーケットであり、売場の快適性に配慮しました。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地周囲に植栽帯を設けます。
Q2 サービス性能	建物利用者の利便性を考慮しました。	
LR1 エネルギー	空調機器・冷蔵設備機器は省エネ型を使用します。	LR3 敷地外環境 空調室外機、冷蔵室外機は低騒音型とし、排気フードに脱臭装置を設置します。
LR2 資源・マテリアル	建物の内装材、家具等はアレルギー物質を含まない材料を使います。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

1. 建物概要						
建物名称	パロー新富士インター店	BEE	1.4	BEEランク	B+	★★★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点*	満点	取組み度	評価		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.2	/5		ふつう		
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.1	/5		ふつう		
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.5	/5		ふつう		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.5	/5		がんばろう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価	凡例	よい	ふつう	がんばろう
			4点以上	3点以上	3点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目					
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。							
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)		得点		3.2			
<p>■室内環境対策 (①室温制御/②屋光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①1 外壁面に断熱材を使用。 ④設備メンテナンススペースを確保し機器の維持管理に努めます。</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑥敷地内に緑地を設けます。</p> <p>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) ⑦ 外壁面に断熱材を使用。 ⑨空調室外機 低騒音、省エネ機器を使用。</p> <p>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑫内装仕上げ等は必要な部分のみとしました。 ⑬再利用可能な木製什器を使用します。 ⑬F4☆の材料を使用します。 冷媒R410Aを使用します。</p> <p>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭敷地周囲に緑地帯を設置。</p>	Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能	
	Q-1	3	3.1	3.1.3	②	屋光利用設備	
				3.2	3.2.1	③	屋光制御
	Q-2	2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数	
				2.2.2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
			2.2.3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		
			2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔		
			2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔		
			2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔		
	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出	
		3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上	
	LR-1	1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制	
		2			⑧	自然エネルギー利用	
		3			⑨	設備システムの高効率化	
		4	4.1		⑩	モニタリング	
			4.2		⑩	運用管理体制	
	LR-2	1	1.1		⑪	節水	
			1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無	
				1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無	
		2	2.1	2.1.1	⑫	材料使用量の削減	
				2.1.2	⑫	既存建築躯体等の継続使用	
				2.1.3	⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用	
				2.1.4	⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
				2.1.5	⑫	持続可能な森林から産出された木材	
				2.1.6	⑫	部材の再利用可能性向上への取組み	
		3	3.1		⑬	有害物質を含まない材料の使用	
			3.2	3.2.1	⑬	消火剤	
				3.2.2	⑬	断熱材	
				3.2.3	⑬	冷媒	
	LR-3	1			⑭	地球温暖化への配慮	
		2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)		得点		3.1			
<p>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑰耐震性 静岡県の地域係数(1.20)にて計画しました。</p>	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性	
					2.1.2	⑯	免震・制振性能
				2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備
					2.4.2	⑰	給排水・衛生設備
					2.4.3	⑰	電気設備
				2.4.4	⑰	機械・配管支持方法	
				2.4.5	⑰	通信・情報設備	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)		得点		3.5			
<p>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑱バリアフリー法誘導基準相当の計画とした。</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 21 スーパーマーケット売場内の天井をなくし、解放感のある空間としました。</p>	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画	
		3	3.1	3.1.1	⑲	階高のゆとり	
				3.1.2	⑲	空間の形状・自由さ	
	Q-3	3	3.1		㉑	地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)		得点		2.5			
<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/㉓敷地内温熱環境の向上) 22 周辺環境へ配慮した、建物外観・色としました。</p> <p>■敷地外環境対策 (㉔温熱環境悪化の改善)</p>	Q-3	1			⑳	生物環境の保全と創出	
		2			㉒	まちなみ景観への配慮	
		3	3.2			㉓	敷地内温熱環境の向上
	LR-3	2	2.2		㉔	温熱環境悪化の改善	